


# 境町(さかいまち)

	〒 306-0495 〈住所〉 猿島郡境町391番地1 〈TEL〉 0280-81-1300 〈FAX〉 0280-86-7521 〈HP〉 <a href="https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/">https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/</a> 〈e-mail〉 hisyo@town.ibaraki-sakai.lg.jp	地域指定 近郊整備	法人番号 3000020085464
	退職手当 消防費しゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 滞納処分等 し尿斎場 ごみ コミュニティセンター 運動場 消防 養護老人ホーム 特殊湛水防除	公営企業 <small>※令和5年3月31日現在</small> 法適用(上水) 法非適用(公共下水道 農業集落排水)	
町章	306-0495	一部事務組合加入事業	3000020085464
類型 V-1	地方公共団体コード 085464	面積 46.59 km <sup>2</sup>	

## <行政組織>

### ①長等(令和5年5月1日現在)

長	はしもと まさひろ 橋本 正裕 (47歳)	任期	令和8年3月2日
副町長	野尻 智治	就任回数	3期目

### ②議会(令和5年5月1日現在)

議長	倉持 功	副議長	青木輝明
任期	令和7年7月2日	条例定数	12人
党派別	公明1人、無所属11人	現議員数	12人

### ③職員数(令和4年4月1日現在) (人)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業会計関係
231	197	167	34
一般行政職の平均給料月額	2,950 百円	ラスパイレ ス指数 95.4	地域手当 補正後 ラス指数 95.4
全職員数の推移	平成31年4月1日	令和2年4月1日	令和3年4月1日
	233	236	237

### ④機構図(令和5年4月1日現在)

<町長> - <副町長>

企業立地推進室

秘書公室 - 秘書広聴課(多文化共生推進室)、まちづくり推進課(ふるさと納税推進室、FC推進室、勤労青少年ホーム)

総務部 - 総務課(情報システム室)、税務課

企画部 - 地方創生課、財政課、管財課

危機管理部 - 防災安全課

町民生活部 - 住民課(人権・協働ハーモニー室)、子ども未来課、健康推進課

福祉部 - 社会福祉課、介護福祉課、保険年金課

建設農政部 - 建設課、都市計画課、農業政策課、上下水道課

<会計管理者>  
会計課

<議会>  
議会事務局

<教育長>  
教育委員会 - 学校教育課、生涯学習課(中央公民館、歴史民俗資料館、ふれあいの里、文化村公民館)、学校給食センター

<行政委員会> - 選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会、坂東市外2か町公平委員会

## <概要>

### ①沿革

昭和30年3月16日 合併  
境町 長田村 猿島村 森戸村 静村

### ②地勢・風土等

境町は、茨城県の西南部、首都圏50km圏内に位置し、町の西南部を利根川が流れている。本町は古くは利根川随一の河岸のまちとして栄えた。平成29年の圏央道茨城県内全線開通により、車で東京や成田へ1時間と交通の便が向上。東京駅行き的高速バスの運行開始や、境古河IC周辺開発により、観光交流拠点の整備や企業誘致など、物流・交通の要所として発展が期待されるなか、「自然と近未来が体験できるまち」の実現に向けて、スピード感のあるまちづくりを進めている。

### ③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (令和5年4月1日)	
	平成22年	平成27年	令和2年		
人口	男	12,805	12,217	12,274	12,085
	女	12,909	12,300	11,927	11,815
	合計	25,714	24,517	24,201	23,900
世帯数	7,923	8,061	8,722	9,003	

### ④有権者数(令和5年3月1日現在) ⑤高齢人口割合 (R5.1.1住基人口)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合
	10,114	9,900	20,014	

## <産業・経済>

### ①生産・所得(令和2年度)

市町村内総生産	1,120 億円	住民所得	756 億円
		人口1人当り住民所得	3,123 千円

### ②産業構造 (百万円・人)

区分	総生産額(令和2年度)	就業人口(令和2年国調)
第1次	3,584 3.2%	912 7.5%
第2次	43,455 38.8%	4,501 36.8%
第3次	64,399 57.5%	6,821 55.8%
総額・総数	111,974 -	12,234 -

### ③農業・工業・商業 (人・百万円)

農業 (令和2年2月1日)	農家数	主業農家数	農業就業人口
	990	193	1,480
製造業 (令和3年6月1日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (R2.1.1~12.31)
	84	2,825	96,477
卸・小売業 (令和3年6月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (R2.1.1~12.31)
	292	1,718	44,481

### ④特産物

レタス、トマト、ねぎ、カリフラワー、さしま茶、梅山豚、常陸牛

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	増減率
歳入	22,074,403	22,557,974	2.2
歳出	21,502,258	21,201,833	△ 1.4
形式収支	572,145	1,356,141	-
実質収支	448,718	1,057,218	-
単年度収支	266,850	608,500	-
実質単年度収支	286,954	645,852	-

②主な歳入・歳出(令和3年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
<b>歳入</b>	22,558	-	484	2.2
地方税	3,605	16.0	16	0.4
地方交付税	1,997	8.9	361	22.1
国庫支出金	3,004	13.3	△ 2,441	△ 44.8
地方債	1,205	5.3	102	9.2
うち臨財債	486	2.2	145	42.5
その他	12,747	56.5	2,446	23.7
うち繰入金	4,996	22.1	1,126	29.1
<b>歳出</b>	21,202	-	△ 300	△ 1.4
義務的経費	5,436	25.6	706	14.9
人件費	1,742	8.2	28	1.6
扶助費	2,696	12.7	666	32.8
公債費	998	4.7	12	1.2
投資的経費	2,252	10.6	△ 910	△ 28.8
普通建設事業費	2,238	10.6	△ 881	△ 28.2
うち補助	1,281	6.0	△ 1,253	△ 49.4
うち単独	927	4.4	381	69.8
その他の経費	13,514	63.8	△ 96	△ 0.7
うち繰出金	1,415	6.7	△ 10	△ 0.7

③主要指標(令和3年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (14.23)
連結実質赤字比率	- % (19.23)
実質公債費比率	13.7 % (25.0) [6.3]
将来負担比率	71.8 % (350.0) [28.8]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(令和4年度)	0.673	[0.677]
経常収支比率	84.6 %	[85.7]
標準財政規模(令和4年度)	6,375 百万円	[16,143]
地方債現在高(A)	10,270 百万円	[26,406]
債務負担行為支出予定額(B)	3,303 百万円	[5,315]
積立金現在高(C)	3,255 百万円	[7,343]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	10,318 百万円	[24,378]

※1 ( )は早期健全化基準、[ ]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(令和3年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 [ ]は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	1,241,600 ( 33.5 )	1,193,651 ( 33.1 )	96.1 [97.2]
市町村民税・法人 (構成比)	303,786 ( 8.2 )	301,551 ( 8.4 )	99.3 [98.7]
固定資産税 (構成比)	1,812,663 ( 48.9 )	1,766,395 ( 49.0 )	97.4 [97.1]
市町村税合計 (国保除く)	3,707,194	3,604,957	97.2 [97.3]

<公共施設整備状況>(令和3年度)

※1は令和4年度  
道路改良率・舗装率は令和2年度

小学校 ※1	5 校	体育館	2 箇所
中学校 ※1	2 校	プール	1 箇所
義務教育学校 ※1	0 校	児童館	0 箇所
幼稚園 ※1	2 園	老人福祉施設	12 箇所
保育所 ※1	4 箇所	病院・一般診療所	12 箇所
認定こども園 ※1	5 園	道路改良率	39.9 %
図書館	0 箇所	道路舗装率	63.6 %
公営住宅	340 戸	上水道普及率	97.2 %
公民館等	2 箇所	汚水処理普及率	74.2 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算 事業費
自動運転バス運行事業	R2 ~	交通弱者をはじめとする地域住民の足を確保するため、コースの新設など自動運転バスの運行事業を行う。また、令和4年度は、自動運転レベル4の実現に向け必要となるインフラ等を整備する。	139
高速バス運行事業	R3 ~	境町から東京駅に直結する高速バスを、1日8往復16便運行する。	88
(仮称)アーバンスポーツパーク2nd整備事業	R4 ~ R5	東京2020オリンピック会場となったアーバンスポーツパークを移設する。当該施設は、BMX等ナショナルチームの練習拠点となる予定であり、今後、国内外の大会を招致すること等により将来、境町から世界に羽ばたく選手が生まれるよう、施設を活用する。	909
防災拠点緊急整備事業(小学校体育館及び文化村体育館)	R4 ~ R5	町内小学校5校の体育館及び文化村体育館にエアコンを設置する。	325

②今後の主要課題・特色ある行政等

<特色ある行政>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・返還免除型奨学金貸付事業</li> <li>・英語検定補助事業</li> <li>・国際交流児童アルゼンチン派遣事業</li> <li>・ドライブレコーダー購入費助成事業</li> <li>・定住化促進事業</li> <li>・移住促進奨励金事業</li> <li>・健康マイレージ事業</li> <li>・医療費助成事業(マル境)</li> <li>・メタバ脱出減量プログラム事業</li> <li>・保育士確保のための給与アップ事業</li> <li>・第2子以降保育料無償化事業</li> <li>・通学高速バス定期券購入費助成事業</li> <li>・消防団員自動車運転免許取得費補助事業</li> <li>・移住・定住促進民間賃貸住宅家賃助成事業</li> <li>・保育園・認定こども園副食費・主食費無償化補助事業</li> <li>・町内小中学校給食費無償化</li> <li>・子育てシェアタウン推進事業</li> <li>・都市空間デジタル基盤構築支援事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーグローバルスクール事業</li> <li>・ホノルル交流事業</li> <li>・防犯カメラ設置助成事業</li> <li>・急発進抑制装置購入費助成事業</li> <li>・子育て世帯等定住促進事業</li> <li>・産前産後子育てヘルパー派遣事業</li> <li>・葉酸サプリメントプロジェクト事業</li> <li>・赤ちゃん紙おむつ等購入費助成事業</li> <li>・歩活プロジェクト事業</li> <li>・外国人一元的相談窓口設置事業</li> <li>・病児保育事業</li> <li>・子ども食堂助成事業</li> <li>・高校生等臨時給付金支給事業</li> </ul>
--	--